

2014年1月9日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の安全情報

武装集団による侵入強盗の発生

1月7日、ポタフォゴ地区ギリエルメ・ギンレ通りのアパートに10名前後の武装集団が侵入し、同アパート内の多数の世帯を襲撃する強盗事件が発生しました。

犯人の1名がアパート敷地内に何らかの手段で侵入した後に拳銃を使用して門衛を制圧し、仲間をアパート敷地内に侵入させたと見られます。

犯行中、1名は門衛所のカウンターの下に潜んで門衛に拳銃を突きつけて脅迫し続けて外部から異変を察知されないようにし、犯行後には監視カメラの画像が記録されたハードディスクを持ち去りました。

当地では、治安状況に鑑みてほとんどの在留邦人は門衛が24時間配置された集合住宅に居住しています。このような物件では侵入強盗の発生は比較的少ないですが、武装集団に標的とされた場合には、銃器も持たない数名の門衛では対応できないため、必ずしも安全とは言えません。以下を参考に注意してください。

1. 身に覚えのない来訪者の場合は、呼び鈴が鳴ってもすぐに扉を開けず、スコープ等から相手を確認してから対応するようにしてください。可能であれば、室内に人がいることを知られないように物音を立てず、返事もしないでください。扉を破壊するなど大きな物音を立てれば、未だ襲撃していない世帯の住人に犯行を察知されて警察に通報されるおそれがあるため、大型の銃器で武装している武装強盗であっても、騒ぎとなるような行動は避ける傾向にあります。
2. 自室に侵入されてしまった場合は、抵抗しても身を危険にさらすのみですから、努めて冷静に対処し、犯人の要求に従うようにしてください。